

A 7/26
上毛1回

世界標準の「B企業認証」

群馬大に認定拠点

太田キャンパス

社会的責任を具たす企業
を認定する世界標準の民間

制度「Bコーポレーション
(企業) 認証」を国内に普

及ぶため、群馬大大学院の黒田真一教授は、同大太田キャンパス(太田市)に米NPO法人公認の認定機関「Bラボ・ジャパン」の設立準備委員会を国内で初めて設置した。製造業が集まる太田を拠点に、「優良企業の輪」を全国に広げる。

Bは「ベネフィット(恩恵)」を示し、認証を受けることで「社会に恩恵をもたらす企業」であることを国内外にPRする狙いがある。米・ベンシルベニア州拠点のNPO「Bラボ」が10年ほど前に制度運用を始め、50カ国の1820社以上が認証を受けているが、

国内では今春、新素材研究開発のシルクウェーブ産業(桐生市)が第1号となったばかりで、計2社に過ぎない。

認証は環境保護活動や企業統治などの観点から審査されるが、英語による審査が国内中小企業の障害になつており、産学連携を推進する黒田教授がシルク社の小沢康男会長らと準備委を立ち上げ、国内での増加を目指す。準備委は今秋にも公益社団法人化して認定機関となる見通し。

同研究し、認証支援も手掛けた黒田教授は「B企業になれば信頼できるパートナーとして世界で認められ、国内外で取引先の幅が広がる」と話す。

準備委は25日、太田市内で「Bコーポレーションを知る会」を開き、B企業に詳しい米アキナス大の山崎正人名誉教授が米国の状況などを説明。「認定されれば優秀な人材が企業に集まる。制度が国内で法制化されれば減税対象にもなり得るだろう」と展望した。

2年ほど前から同社と共